

平成30年度和歌山県立医科大学医学部入学者選抜要項

《和歌山県立医科大学医学部のアドミッションポリシー》

和歌山県立医科大学医学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

- ・ **科学的探求心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人**
医学を志す人には、旺盛な科学的探求心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあるとともに、高い倫理観を有する人を求めます。
- ・ **医学を修得するための幅広い能力を有する人**
医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要です。そのため、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求めます。
- ・ **コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人**
医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力（情報の共有と良好な患者－医師関係が築ける能力）が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求めます。
- ・ **地域医療に関心があり、国際的視野を有する人**
本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成します。地域医療に関心があるとともに、国際社会でも活躍できるための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

平成30年度入学者選抜試験は、一般入学試験（前期日程）及び推薦入学試験を実施します。

なお、平成20年度入試から、国の「緊急医師確保対策」により医師不足の地域や診療科に勤務する医師の養成推進策として「県民医療枠」（全国募集）、「地域医療枠」（県内募集）を設けています。

「県民医療枠」（全国募集）とは、和歌山県民医療の指導的・中心的な役割を担う人材として募集するもので、本学卒業後9年間のキャリア形成を本学及び和歌山県内の地域中核病院で行います。なお、在学中の成績優秀者には卒前・卒後の留学を支援します。

「地域医療枠」（県内募集）とは、地域医療に貢献する医師を養成するために募集するもので、和歌山県から修学資金が貸与され、卒業後、通常9年間のキャリア形成を本学およびへき地医療拠点病院、へき地診療所等、和歌山県が指定する公的医療機関等で行います。その場合は、貸与された修学資金の返済は免除されます。

各試験の概要は、次のとおりです。

I 一般入学試験（前期日程）

（1）出願資格及び要件

平成30年度大学入試センター試験において、本学が指定した5教科7科目を受験した者で、次の①号から③号のいずれかに該当する者。ただし、「県民医療枠」（全国募集）出願者においては、④号にも該当する者。

- ①高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年間の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ④「県民医療枠」（全国募集）に出願する者は、卒業後、和歌山県内地域中核病院で研修し、将来、医師や研究者として県民医療に貢献したいという強い意欲のある者であること。また、出願時に、1)本人、2)親権者あるいは後見人の誓約書の提出を要する。

(注1) 上記出願資格(1)の③に該当する者で同条第7号の規定により出願しようとする者は事前に「個別の入学資格審査」を受ける必要があるため、本学学生課に問い合わせのうえ、平成29年8月7日(月)から8月18日(金)の間に資格認定の申請を行うこと。

(2) 募集人員、選抜方法等

募集人員	一般枠(全国募集) 64名	県民医療枠(全国募集) 15名													
出願期間	平成30年1月22日(月)～1月31日(水)														
試験日	個別学力検査	平成30年2月25日(日)													
	面接	平成30年2月26日(月)													
合格発表日	平成30年3月6日(火) ※現時点での予定のため、詳細は11月中旬公表予定の学生募集要項で必ず確認してください。														
選抜方法	第1段階	大学入試センター試験 (5教科7科目) 国語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」) から1科目 公民 (「倫理、政治・経済」) 数学 (「数学I・数学A」) 必須 (「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」) から1科目 理科 (「物理」、「化学」、「生物」) から2科目 外国語 (「英語」リスニングテストを含む。)													
	第2段階	志願者が募集人員(79名)の約3.3倍を超えた場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行う。 第1段階選抜に用いる大学入試センター試験の配点 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>	教科	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	合計	配点	200	100	200	200	200
教科	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	合計									
配点	200	100	200	200	200	900									

(注1) 「一般枠64名」と「県民医療枠15名」は推薦入学者の数によって増減する。

(注2) 第二段階選抜の数学、理科、英語の詳細は様式1参照

(注3) 「県民医療枠」を志望枠として出願した者は、「県民医療枠」で合格とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象とする。

(注4) 「県民医療枠」の出願者で誓約書を提出しない者は出願を受理しません。

(注5) 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限る。

II 推薦入学試験

(1) 一般枠（県内募集）の出願資格及び要件

平成30年度大学入試センター試験において、本学が指定した5教科7科目を受験した者で、次の要件をすべて満たし、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）の長が責任をもって推薦できる者であり、合格した場合、入学することが確約できる者。ただし、推薦人員は1高等学校につき3名以内とする。

- ①高等学校を平成30年3月卒業見込みの者であって、和歌山県内の高等学校に在籍している者、または、出願時、扶養義務者が引き続き3年以上和歌山県内に居住している者
 - ②調査書の学習成績概評 A（全体の評定平均値4.3以上）の者
 - ③学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、医学、医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた者
- (注1) 高等学校以外の学校に在学する者でも、本学学生課に問い合わせの上、平成29年8月7日（月）から8月18日（金）までに事前申請を行い、本学が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた者については、出願することができる。
- (注2) 上記②の調査書が得られない場合は、②の条件に相当する書類を提出すること。

(2) 県民医療枠（全国募集）の出願資格及び要件

平成30年度大学入試センター試験において、本学が指定した5教科7科目を受験した者で、次の要件をすべて満たし、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）の長が責任をもって推薦できる者であり、合格した場合、入学することが確約できる者。ただし、推薦人員は1高等学校につき2名以内とする。

- ①高等学校を平成30年3月卒業見込みの者か平成29年3月卒業の者
 - ②調査書の学習成績概評 A（全体の評定平均値4.3以上）の者
 - ③学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、卒業後、和歌山県内地域中核病院で研修し、将来、医師や研究者として県民医療に貢献したいという強い意欲のある者であり、人格的に特に優れた者
 - ④「県民医療枠」に出願する者は、出願時に、1)本人、2)親権者あるいは後見人の誓約書の提出を要する。
- (注1) 高等学校以外の学校に在学する者でも、本学学生課に問い合わせの上、平成29年8月7日（月）から8月18日（金）までに事前申請を行い、本学が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた者については、出願することができる。
- (注2) 上記②の調査書が得られない場合は、②の条件に相当する書類を提出すること。
- (注3) 誓約書を提出しない者は出願を受理しません。

(3) 地域医療枠（県内募集）の出願資格及び要件

平成30年度大学入試センター試験において、本学が指定した5教科7科目を受験した者で、次の要件をすべて満たし、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）の長が責任をもって推薦できる者であり、合格した場合、入学することが確約できる者。ただし、推薦人員は1高等学校につき3名以内とする。

- ①和歌山県内の高等学校を平成30年3月卒業見込みの者か平成29年3月卒業の者。または、和歌山県外の高等学校を平成30年3月卒業見込みの者か平成29年3月卒業の者であって、出願時、扶養義務者が引続き3年以上和歌山県内に居住している者
- ②調査書の学習成績概評 A（全体の評定平均値4.3以上）の者
- ③学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、和歌山県が設定する和歌山県修学資金の貸与を受け、卒業後、和歌山県が指定する公的医療機関等に勤務し地域医療に貢献することを確約でき、人格的に特に優れた者
- ④「地域医療枠」に出願する者は、出願時に、1)本人、2)親権者あるいは後見人

の誓約書の提出を要する。

(注1) 高等学校以外の学校に在学する者でも、本学学生課に問い合わせの上、平成29年8月7日(月)から8月18日(金)までに事前申請を行い、本学が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた者については、出願することができる。

(注2) 上記②の調査書が得られない場合は、②の条件に相当する書類を提出すること。

(注3) 誓約書を提出しない者は出願を受理しません。

(4) 募集人員、選抜方法等

募集人員	一般枠 (県内募集) 6名程度	県民医療枠 (全国募集) 5名程度	地域医療枠 (県内募集) 10名													
出願期間	平成29年12月13日(水)～12月19日(火)															
試験日 (面接)	平成30年2月4日(日) 一般枠・県民医療枠・地域医療枠															
合格発表日	平成30年2月6日(火) ※現時点での予定のため、詳細は11月中旬公表予定の学生募集要項で必ず確認してください。															
選抜方法	第一段階	大学入試センター試験 (5教科7科目) 国語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」) から1科目 公民 (「倫理、政治・経済」) 数学 (「数学I・数学A」と「数学II・数学B」) 理科 (「物理」、「化学」、「生物」) から2科目 外国語 (「英語」リスニングテストを含む。)														
	第二段階	一定以上の優れた学力水準を満たした者を選抜するため、大学入試センター試験により、第一段階選抜を行う。 第一段階選抜に用いる大学入試センター試験の配点 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>		教科	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	合計	配点	200	100	200	200	200
教科	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	合計										
配点	200	100	200	200	200	900										

(注1) 推薦入学試験において、「一般枠」、「県民医療枠」、「地域医療枠」を併願することはできない。

(注2) 「一般枠」の合格者数の増減により、一般入学試験(前期日程)「一般枠」の募集人員が増減する。

(注3) 「県民医療枠」の合格者数の増減により、一般入学試験(前期日程)「県民医療枠」の募集人員が増減する。

(注4) 「地域医療枠」10名の内の5名は調整中であり、変更する場合があります。

(注5) 「地域医療枠」の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員分は一般入学試験(前期日程)「県民医療枠」の募集人員に加える。

(5) 地域医療卒志願者へ

和歌山県修学資金についての問い合わせ先は下記のとおりです。

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

和歌山県庁 福祉保健部健康局医務課 TEL 073-441-2610

* (参考) 平成29年度 貸与金1ヶ月

自宅外から通学する者 15万円 自宅から通学する者 10万円

III その他留意事項

身体に障害等(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度)がある者で受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、推薦入学試験については平成29年12月1日(金)、一般入学試験については平成29年12月15日(金)までに本学に申し出ること。

IV 募集要項の請求方法(11月中旬から配布予定)


(1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、本学ホームページ(<http://www.wakayama-med.ac.jp/>)をご覧ください。

(2) テレメールで請求する場合

①インターネット(PC・スマートフォン・携帯電話等)または自動音声応答電話をご利用ください。

インターネット (PC・スマホ・携帯電話)	http://telemail.jp	バーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	
自動音声応答電話	IP 電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※ 一般電話回線から通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円		

②資料を希望する資料請求番号(6桁)を入力またはプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	料金	発送開始日
医学部募集要項	585852	250円	11月中旬
医学部案内	565872	180円	7月中旬
医学部募集要項・医学部案内	545952	250円	11月中旬

③あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

※ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送されます。

※ 予約受付の資料を除き、おおむね1~2日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。また発送開始日に変更になる可能性もあります。なお、1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

※ 料金はお届けする資料に同封の料金支払い用紙の支払方法に従い、資料到達後2週間以内に表示料金をお支払いください。支払方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い(携帯電話通話料金と一緒にのお支払い)」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります(手数料は支払方法によって異なります)。料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

(1)・(2)の請求方法についてのお問合せ先

テレメールカスタマーセンター

IP 電話 050-8601-0101 (9:30 ~ 18:00)

(3) 本学へ直接請求する場合

郵送により請求する場合は、住所・氏名・郵便番号を明記し、380円分の切手を貼付した返信用封筒(角型2号、240 mm × 332 mm)を同封の上、封筒の表に「医学部募集要項請求」と朱書きして、下記へ請求してください。

<請求先> 〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学 学生課 学務班 電話 073-441-0702 (直通)

平成30年度 和歌山県立医科大学入学者選抜の実施教科・科目等について

様式1

学部学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法 等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	
平成29年度 志願倍率 医学部 医学科 100名 前期 79名* その他 21名程度 (4.4)	前期 2月25 日(日) 2月26 日(月)	国語	「国語」	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」	志願者が募 集人員(79 名)の約3.3 倍を超えた 場合、大学 入試センタ ー試験の成 績により第 一段階選抜 を行う。	センター試験	100	●100	100	150	150	600	推薦 追加合格
		地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、	理科	「数学A」、「数学B★」									
		公民	「倫理、政治・経済」	外国語	「物理基礎・物理」、「化学基礎・ 化学」、「生物基礎・生物」から2									
		数学	「数学Ⅰ・数学A」(必須) 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」から1	その他	「コミュニケーション英語Ⅰ」、 「コミュニケーション英語Ⅱ」、 「コミュニケーション英語Ⅲ」、 「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」									
		理科	「物理」、「化学」、「生物」から2	面接		計	100	●100	350	400	350	1300		
		外国語	「英語」◆											
			[5教科7科目]											

〔学部学科等名及び入学定員等〕欄

1. 前期79名*は、推薦入学者の数によって増減する。

〔大学入試センター試験の利用教科・科目名〕欄

1. 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限る。
2. 「地理歴史」、「公民」で2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。
3. 外国語の英語◆については、リスニングテストを含む。

〔個別学力検査等〕欄

1. 「数学B★」については、『数列』、『ベクトル』を出題範囲とする。
2. 第一段階選抜に用いる大学入試センター試験の英語の配点は、筆記試験(200点満点)及びリスニングテスト(50点満点)の合計得点(250点満点)を圧縮し、200点満点とする。

〔大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等〕欄

1. 配点に●印を付してある教科は選択教科を表す。